

令和3年度四万十町子ども・子育て会議 会議録

日 時：令和4年1月21日（金） 18時30分～19時30分

場 所：四万十町役場 東庁舎2階町民活動支援室

出席委員：林瑞穂、岡英祐、長森伸一、本山桂三、中城美和、門田清子、今西都美恵、清水亜也子、
高橋知佐、林賢一

欠席委員：島田千沙、佐々木将司

事務局：佐竹あゆみ、井上稚美

健康福祉課：小松充、小松真紀

○会議次第

1. 開会及び挨拶
2. 委員（会長及び副会長）の選出について
3. 議事
 - （1）第2期子ども・子育て支援事業計画進捗状況について
 - （2）その他
4. 閉会

○会議議事録

1. 開会 事務局
2. 挨拶 生涯学習課長
3. 委員（会長及び副会長）の選出について
会長を生涯学習課長 林瑞穂氏、副会長を保育所長 門田清子氏とする旨全会一致で決定。
4. 議題

□議題 （1）第2期子ども・子育て支援事業計画進捗状況について

まず、本日の会議録を要旨とするか、一言一句記載する会議録とするのか意見を求めた。意見については委員名を記載し要旨として会議録作成することが全会一致で決定され、続いて、第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等について事務局（佐竹）及び健康福祉課（小松）から説明を行う。

□意見交換審議

- 会 長 生涯学習課、健康福祉課の進捗状況について感想・質問・意見を求めます。
保育所の老朽化に加え土砂災害警戒地域にある保育所も多数あり、今後移転や改築が必要になる。小中学校適正配置計画との兼ね合いを考慮し検討している。
- 高橋委員 具体的な計画はあるか。

会 長 土砂災害警戒区域にある保育所や年数の古い保育所から順次、適正配置計画も視野に入れ検討を進めていく。

岡 委 員 適正配置計画も説明を行っている状況で、地区の意見等集約はまだできていない。

会 長 興津保育所も10人を下まわる状況が続き、今後は運営方法等を検討していかなければならない。

本 山 委 員 子育て世帯の経済的負担軽減にも取り組んではいる。合計特殊出生率も上昇し、3人子どもを産んでいる世帯も多いように思われるが出生数は厳しい状況にある。婚姻が増加すれば出生も増えるので、婚活を含め町全体で取り組む必要がある。また、移住定住も視野に入れ、職場環境整備にも取り組まなければならない。

高 橋 委 員 一家庭の子どもの数に比例して両親の休みも増えると思う。病院への交通費であったり仕事の代替であったり何かできないか。医療（小児科）の充実は不可欠である。

長 森 委 員 県内においても、四万十町においても医師の確保は難しい状況。

会 長 町内には産科も小児科もない状況である。

高 橋 委 員 診療所があっても早くしまったりすると、子育て世帯が利用しづらいこともある。

林 委 員 昨年も話に出たが、皮膚科や耳鼻科は町外まで受診に行くので、交通費に加え時間もかかってしまう負担があるので町内にあればありがたい。

会 長 休業補償や医師の確保は難しい。

林 委 員 開業の手助け等何かできないか。

高 橋 委 員 十和診療所についても医師の確保には苦慮している。

会 長 2名の医師については確保できているがあと1名は難しい。

長 森 委 員 5～11歳のコロナワクチン接種も3月から予定しているが、やはり小児については限定される。予防接種をすると翌日に対応できるようにしたいとか、日程についても苦慮している状況で、医師不足・確保については町全体での課題である。

会 長 コロナ対策については何かないか。

高 橋 委 員 ひとり親世帯への対応はどうか。収入減や仕事がなくなるといったことはないか。

本 山 委 員 持続化給付金制度の活用もある。また、18歳まで1人あたり10万円支給や、2月には非課税世帯を対象に1世帯10万円の支給を行う。

長 森 委 員 社会福祉協議会も緊急貸付を行っているが、ひとり親世帯やコロナ関係だけでもないように思う。

高 橋 委 員 ひとり親世帯が困っていることはないか。

事 務 局 四万十町では保育所の努力もあり、今のところ保育所の休園もない状況なので助かっている。

会 長 ある一定数は困窮もあると思うが把握は出来ていない。祖父母の支援やその他何らかの支援はあるのではないかと。他にないでしょうか。進捗状況については以上です。

□その他

会 長 その他については何かありませんか。日頃気づいた点があればいつでも事務局まで報告をいただければ計画に反映していきたいと思う。本日の会議はこれで終了とします。本日はありがとうございました。

以上